



優良住宅部品性能試験方法書

Methods of Testing Performance of Quality Housing Components

シャワールームユニット

Shower room Units

BLT SU : 2025

2025年4月21日公表・施行

一般財団法人 **ニセーリビコダ**

I. 性能試験項目

優良住宅部品認定基準において、試験により性能等を確認する項目及び試験方法等は下表によるものとする。

	性能試験項目	性能試験方法	備考	頁
1.	照度試験	BLT SU-01 (別表1)		1
2.	耐湿性試験	BLT SU-02 (別表2)		2
3.	散水試験	BLT SU-03 (別表3)		3
4.	水張り試験	BLT SU-04 (別表4)		4
5.	配管の漏れ試験	JIS A 4416:2005 (住宅用浴室ユニット)の8.4 a) 「配管の漏れ試験(給水・給湯管)」		—
6.	壁の衝撃試験	BLT SU-05 (別表5)		5
7.	壁に対するたわみ試験	JIS A 4416:2005 (住宅用浴室ユニット)の8.3 d) 「壁に対するたわみ」		—
8.	床の衝撃試験	BLT SU-06 (別表6)		6
9.	床の静荷重試験	BLT SU-07 (別表7)		7
10.	動作補助手すり等の水平・鉛直荷重試験	BLT RW-04 優良住宅部品性能試験方法書 (歩行・動作補助手すり)の4.「動作補助手すりの水平・鉛直荷重試験」	第三者性を有する 機関等による試験 の実施	—
11.	動作補助手すり等の変形試験	BLT RW-05 優良住宅部品性能試験方法書 (歩行・動作補助手すり)の5.「動作補助手すりの変形試験」		—
12.	腰掛の耐荷重試験	BLT SU-08 (別表8)		8
13.	硬さ試験 (鉛筆ひっかき試験) —塗装タイプの化粧板	BLT SU-09 (別表9)		9
14.	硬さ試験 (バーコル硬度) —FRP板	BLT SU-10 (別表10)		10
15.	密着性試験—各種化粧板	BLT SU-11 (別表11)		11
16.	耐滑り性能試験	JIS A 1509-12:2020 (セラミックタイル試験方法 —第12部:耐滑り性試験方法)		—
17.	絶縁抵抗試験	JIS A 4416:2005 (住宅用浴室ユニット)の8.7 a) 「絶縁抵抗」	第三者性を有する 機関等による試験 の実施	—
18.	絶縁耐力試験	JIS A 4416:2005 (住宅用浴室ユニット)の8.7 b) 「絶縁耐力」	第三者性を有する 機関等による試験 の実施	—
19.	耐湿絶縁試験	JIS A 4416:2005 (住宅用浴室ユニット)の8.7 c) 「耐湿絶縁」	第三者性を有する 機関等による試験 の実施	—
20.	ヘアキャッチャーの性能試験	BLT SU-12 (別表12)		12
21.	耐食性試験—化粧金属板、 ステンレス板	BLT SU-13 (別表13)		13
22.	耐酸性試験—FRP板	BLT SU-14 (別表14)		14
23.	耐アルカリ性試験—FRP板	BLT SU-15 (別表15)		15

II 試験の順序

試験の順序は次のとおりとする。

順序	1	2	3	4	5	6
性能試験項目	絶縁抵抗試験	絶縁耐力試験	耐湿性試験	耐湿絶縁試験	散水試験	水張り試験
性能試験方法	JIS A 4416	JIS A 4416	BLT SU-02	JIS A 4416	BLT SU-03	BLT SU-04

III 試験体

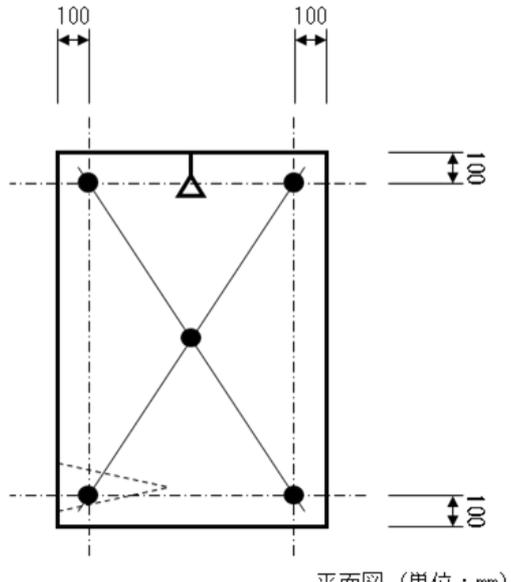
試験体の種別、形状、個数については性能試験方法で示すとおりとする。ただし、個数の下限は当財団の判断によるものとする。

また、試験体は認定申請時に提出された設計図書の図面、仕様書の内容と同一のものであることとし、差異のある場合は、追加試験の要請もあり得る。

IV 試験結果の提示

定量的に表示しうるものは図表化を図ること。また、外観観察については具体的に、何が、いつ、どのような状態になったかを試験目的にそって簡潔に記述すること。なお、試験体、試験装置は詳細図を添付し、また、試験結果を示すのに有効な場合は写真を添付すること。

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	照度試験	試験番号	BLT SU-01
(2)	関連要求項目および性能	1.1 機能の確保 a) 浴室内の照度		
(3)	試験の目的	浴室内の照度を調べる。		
(4)	試験体	種別 レベル	シャワールームユニット本体	個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	照度計		
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件			
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>洗い場上部高さ850mmの5点の上向き照度を測定し、その平均値を算出する。測定位置（●）は下図のとおりとする。また開口部は暗幕等で覆う。</p>  <p>平面図 (単位: mm)</p>		
(6)	試験結果の表示	各点の照度および平均値 (lx)		
(7)	要求性能	平均照度は75lx以上であること		
(8)	注意事項			

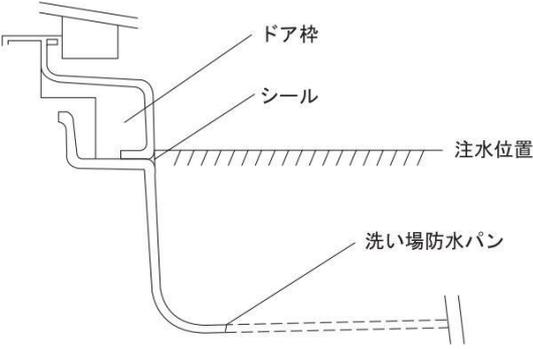
優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	耐湿性試験	試験番号	BLT SU-02
(2)	関連要求項目および性能	1.1 機能の確保 b) 各接合部等の耐湿性及び点検口の蒸気漏れ		
(3)	試験の目的	排水管を除く各部材及び接合部の耐湿性を調べる。また、点検口の蒸気漏れの有無を調べる。		
(4)	試験体	種別 レベル	シャワールームユニット本体、水栓	個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	業務用給湯機		
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件			
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>ユニットの開口部を密閉し、吐水口で計測した約70℃の湯を7L/minの出湯量で湯が直接床面に当たらないよう保護するなどして、1時間連続給湯した後、排水管を除く各部材及び接合部に異常が生じないか調べる。また、点検口等からの蒸気漏れの有無を調べる。</p> <p>なお、給湯する際はシャワーを用いなくても良い。</p>		
(6)	試験結果の表示	変形、異常の状況及び蒸気漏れの有無		
(7)	要求性能	各部材及び接合部に使用上支障となる変形、異常がないこと。また、点検口等からの蒸気がもれないこと		
(8)	注意事項			

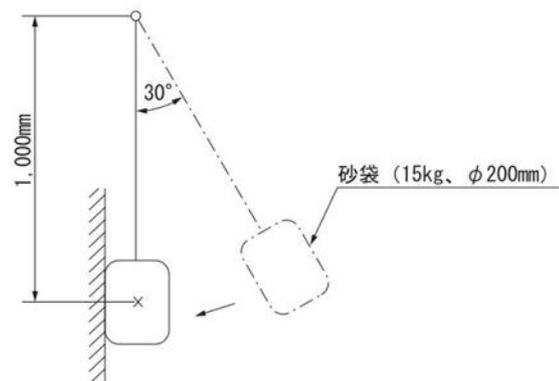
優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	散水試験	試験番号	BLT SU-03
(2)	関連要求項目および性能	1.1 機能の確保 c) 各接合部、扉枠の水密性並びに扉からの水の直接飛散防止		
(3)	試験の目的	各接合部および扉の水密性を調べる。		
(4)	試験体	種別 レベル	シャワールームユニット本体	個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	給水ポンプ、空調用噴霧ノズル		
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件	本試験は、壁に対するたわみ試験、壁の衝撃試験（BLT SU-05）、床の衝撃試験（BLT SU-06）、床の静荷重試験（BLT SU-07）、腰掛の耐荷重試験（BLT SU-08）、手すり等の水平・鉛直荷重試験（BLT RW-04）のうち、必要な試験を実施した後に実施する。		
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>(1) 空調用噴霧ノズル（スプレー角度60°、吹出穴5.0mm、管径1/4）を用いてノズルの根元で水圧を0.196MPa {2kgf/cm²} に保ちながら水を噴出させ、浴室の壁と壁、壁と床、壁と天井および壁と扉枠回り等の接合部に沿って約30cmの距離を保ちながら7cm/秒の速さでノズルを移動させて試験を行う。壁点検口、水栓、照明器具、手すり等の取付部に対しても同様にして試験を行う。</p> <p>(2) 外側への水漏れ、浸潤の有無を調べる。また、扉と扉枠の部分については、外部への直接飛散の有無を調べる。</p> <p>(3) 扉のガラリについては、ガラリ上縁から約10cm上部の位置より上記試験条件で水を水平に噴霧移動させ、ガラリ外部への直接飛散の有無を調べる。</p>		
(6)	試験結果の表示	(1) 外側への水漏れ、浸潤の有無、異常箇所およびその状態 (2) 外部への直接飛散の有無、異常箇所およびその状態		
(7)	要求性能	<ul style="list-style-type: none"> ・外側への水漏れ、浸潤がないこと ・扉と扉枠、扉ガラリ部より外側へ直接水の飛散のないこと 		
(8)	注意事項			

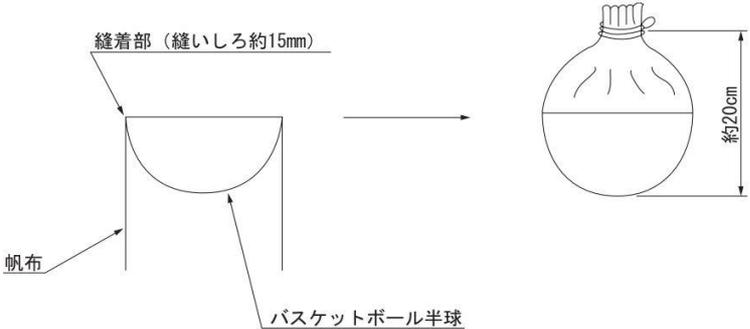
優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	水張り試験	試験番号	BLT SU-04	
(2)	関連要求項目および性能	1.1 機能の確保 h) 防水パンの水密			
(3)	試験の目的	防水パンの防水性を調べる。			
(4)	試験体	種別 レベル	シャワールームユニット本体		個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置				
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件				
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>シャワールームユニットの排水管を栓などで密閉し、ドア開口部の下端（下図参照）まで洗い場に水を満たし、30分間放置した後、水漏れの有無を調べる。</p>  <p>The diagram illustrates the water leakage test setup. It shows a cross-section of a shower pan assembly. Labels include: 'ドア枠' (Door frame) at the top, 'シール' (Seal) below it, '注水位置' (Water filling position) indicated by a horizontal line with diagonal hatching, and '洗い場防水パン' (Shower pan) at the bottom. A dashed line shows the pan's profile extending to the right.</p>			
(6)	試験結果の表示	水漏れの有無およびその漏水箇所			
(7)	要求性能	水漏れが生じないこと			
(8)	注意事項				

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	壁の衝撃試験		試験番号	BLT SU-05
(2)	関連要求項目および性能	1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 a) 壁及び鏡の耐衝撃			
(3)	試験の目的	衝撃力に対する壁及び鏡の剛性を調べる。			
(4)	試験体	種別レベル	シャワールームユニット本体（壁及び鏡） 間口及び奥行きが800mmを超えるシャワールームユニットを対象とする	個数	1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	砂袋			
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件				
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>(1) 直径約200mmの砂袋に総質量が15kgになるように乾燥した川砂を充てんし、これを吊元から砂袋の重心までの距離が1,000mmになるようにひもで吊す。</p> <p>(2) 砂袋が下図のようにひもの角度が30°になるまで持ち上げた後、自然落下させて壁面中央部に衝撃を加え、これを5回繰返した後、ユニット各部における使用上支障のあるような変形、ひび割れ、破損、目地の剥離等の有無を調べる。</p> <p>(3) 鏡がある場合には、鏡面中央部にも同様の試験を行う。</p> 			
(6)	試験結果の表示	使用上支障のあるような変形、ひび割れ、破損、目地の剥離等の有無およびその状態			
(7)	要求性能	(壁)：使用上支障のあるような変形、ひび割れ、破損、目地の剥離が生じないこと (鏡)：ひび割れ、破損、がたつき、脱落がないこと			
(8)	注意事項	関連規格 JIS A 4416			

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	床の衝撃試験	試験番号	BLT SU-06
(2)	関連要求項目および性能	1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 c) 床の耐衝撃		
(3)	試験の目的	衝撃荷重に対する床の剛性を調べる。		
(4)	試験体	種別 レベル	シャワールームユニット本体（床）	個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	ボール型砂袋（砂袋は皮革製又はラバーの円周750～780mmの公認用バスケットボールを用いる。）		
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件			
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>シャワールームユニットをコンクリート床の上に設置し、洗い場の中央部に下図に示す総質量7kgの砂袋を半球部を下にして1,000mmの高さから自然落下させ、これを5回繰返した後床面の変形、ひび割れ、破損等の有無を調べる。</p> 		
(6)	試験結果の表示	変形、ひび割れ、破損等の有無およびその状態		
(7)	要求性能	変形、ひび割れ、破損が生じないこと		
(8)	注意事項	関連規格 JIS A 4416		

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	床の静荷重試験	試験番号	BLT SU-07	
(2)	関連要求項目および性能	1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 d) 床の耐鉛直荷重			
(3)	試験の目的	静荷重に対する床の剛性を調べる。			
(4)	試験体	種別 レベル	シャワールームユニット本体		個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	おもり、ダイヤルゲージ（JIS B 7503）など			
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件				
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>(1) ダイヤルゲージを洗い場中央部にセットする。</p> <p>(2) 洗い場の中央部に直径150mm、厚さ5mmのゴム板を当て、その上に質量100kgのおもりを載せる。</p> <p>(3) 洗い場中央部の1時間後の変形量を測定する。同時に変形、ひび割れ、破損、目地剥離等の有無を調べる。</p>			
(6)	試験結果の表示	(1) 洗い場中央部の1時間後の変形量（mm） (2) 変形、ひび割れ、破損、目地の剥離等の有無およびその状態			
(7)	要求性能	1時間後の変形量が荷重点付近で3mm以下であること 変形、ひび割れ、破損、目地の剥離等が生じないこと			
(8)	注意事項	関連規格 JIS A 4416			

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	腰掛の耐荷重試験	試験番号	BLT SU-08	
(2)	関連要求項目および性能	1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 g) 腰掛の耐荷重			
(3)	試験の目的	静荷重に対する腰掛の剛性を調べる。			
(4)	試験体	種別 レベル	シャワールームユニット本体	個数	1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	おもり、載荷板（十分な剛性を有するもの）			
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件				
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>(1) 腰掛の先端部に、載荷板及び直径150mm、厚さ5mmのゴム板の端部を合わせ、その上に質量150kgのおもりを3分間載せる。</p> <p>(2) その後、おもりを取り除いて使用上支障となる変形、ひび割れ、破損等の異常の有無を調べる。</p>			
(6)	試験結果の表示	変形、ひび割れ、破損等の異常の有無およびその状態			
(7)	要求性能	使用上支障となる変形、ひび割れ、破損等の異常がないこと			
(8)	注意事項				

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	硬さ試験（鉛筆引っかき試験）—塗装タイプの化粧板	試験番号	BLT SU-09	
(2)	関連要求項目および性能	1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 h) 塗装タイプの化粧板及びFRP板の硬さ 1)			
(3)	試験の目的	鉛筆引っかき硬さ試験により塗装タイプの化粧板の表面硬さを調べる。			
(4)	試験体	種別レベル	シャワールームユニットから採取した試験片（7cm×15cm）	個数	1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	鉛筆引っかき試験機（JIS K 5600 5-4） 試験用鉛筆 9H～6B（JIS S 6006 又は（財）日本塗料検査協会の選定品） 研磨紙（JIS R 6252に規定する400番）、消しゴム（JIS S 6050）			
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件				
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>(1) 鉛筆（*）を、試験片の表面に対し45°に器具又は手で保持し、鉛筆を手前から前方に向かって、1秒間に約3mmの速さで芯の折れない程度にできるだけ強い力で押す。</p> <p>(2) 濃度記号が互いに隣り合う二つの鉛筆について5回の引っかきで、塗膜のすり傷が2回以上と2回未満となる1組を求める。2回未満の鉛筆濃度記号を鉛筆引っかき値とする。</p> <p>注（*）鉛筆は常に同一製造業者の設計製図用鉛筆を用い、芯の径のままで約3mm露出させる。次にJIS R 6252（研磨紙）による研磨紙400番を用いて、芯の先端を直角に当てて先端を平らにする。 なお、1回試験に用いた鉛筆の磨滅した箇所を、2回以上の試験を行ってはならない。</p>			
(6)	試験結果の表示	すり傷が2回未満となる鉛筆引っかき値（濃度記号）			
(7)	要求性能	すり傷が2回未満となる鉛筆引っかき値がHB以上であること			
(8)	注意事項				

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	硬さ試験（バーコル硬度）—FRP板	試験番号	BLT SU-10	
(2)	関連要求項目および性能	1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 h) 塗装タイプの化粧板及びFRP板の硬さ 2)			
(3)	試験の目的	バーコル硬度試験によりFRP板の硬さを調べる。			
(4)	試験体	種別 レベル	シャワールームユニットから採取した試験片（7cm×15cm）	個数	1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	バーコル硬度計（JIS K 7060の形式A）			
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件				
	(5-3) 試験方法の詳細	バーコル硬度計を用いて試験体表面10箇所（10箇所）のバーコル硬度を測定し、その平均値を求める。			
(6)	試験結果の表示	10箇所のバーコル硬度の平均値			
(7)	要求性能	バーコル硬度が30以上であること			
(8)	注意事項				

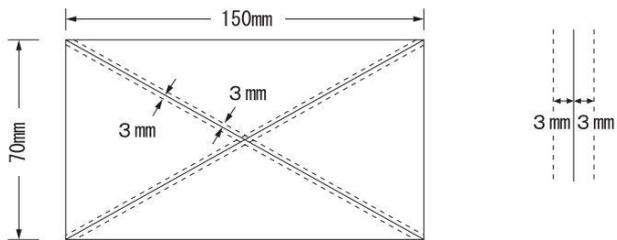
優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	密着性試験—各種化粧板	試験番号	BLT SU-11
(2)	関連要求項目および性能	1.2 安全性の確保 1.2.1 機械的な抵抗力及び安定性の確保 i) 各種化粧板の密着性		
(3)	試験の目的	密着性試験により各種化粧板の表面層の密着力を調べる。		
(4)	試験体	種別レベル	シャワールームユニットから採取した試験片（7cm×15cm）	個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	業務用給湯機		
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件	カッターナイフ（JIS K 5600-5-6）、カッターガイド、セロハン粘着テープ（JIS Z 1522）、消しゴム（JIS S 6050）		
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>(1) カッターナイフおよびカッターガイドを用いて、試験体表面に下地面に達する切込線を1mm間隔で相互に直交するように縦11本、横11本つけ、1mm×1mmの碁盤目を100個作る。ただし、各種化粧板の中で化粧石こうボードのような比較的軟い生地素材の場合、又は硬質で0.6mm以上の厚い化粧層をもつもの場合は、3mm間隔で縦7本、横7本の切込線をつけ、3mm×3mmの碁盤目を36個作る。</p> <p>(2) 表面の切りくずを丁寧に払い落としした後、碁盤目上にセロハン粘着テープを貼付け、消しゴムでこすって表面にテープを完全に付着させる。</p> <p>(3) 付着させてから1～2分後に、テープの一端を持って真上の方向に保ち瞬間的に引きはがし、表面層のはがれの状態を調べる。</p>		
(6)	試験結果の表示	表面層のはがれの状態		
(7)	要求性能	表面層のはがれが生じないこと		
(8)	注意事項			

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	ヘアキャッチャーの性能試験		試験番号	BLT SU-12
(2)	関連要求項目および性能	1. 2. 3 健康上の安全性の確保 b) 床排水のストレーナー（ヘアキャッチャー）			
(3)	試験の目的	ヘアキャッチャーの頭髮捕集性能を調べる。			
(4)	試験体	種別レベル	シャワールームユニット（配管済のもの）		個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	トレーサー（かつら用の髪の毛を10、20、30cmに切断したもの各10本、合計30本とする。なお、かつら用の髪の毛は直毛状態のものとする）			
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件				
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>シャワールームユニットの床面中央部に10L/minでシャワーより散水する。このときトレーサーを床面に投入し、トレーサーをヘアキャッチャー部分まで流した後、ヘアキャッチャーで捕集したトレーサーの数により下式を用いて捕集率を求める。 なお、試験は3回行い、その平均値を求める。</p> $\text{ヘアキャッチャー捕集率 (\%)} = \frac{[\text{ヘアキャッチャーに付着したトレーサーの数}]}{\text{投入したトレーサーの数}} \times 100$			
(6)	試験結果の表示	ヘアキャッチャー捕集率 (%)			
(7)	要求性能	捕集率（平均値）は80%以上で、かつ捕集後も使用上支障のない排水性能を有すること			
(8)	注意事項				

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	耐食性試験—化粧金属板、塗装ステンレス板	試験番号	BLT BU-13
(2)	関連要求項目および性能	1.3 耐久性の確保 a) 化粧金属板、塗装ステンレス板の耐食性		
(3)	試験の目的	化粧金属板および塗装ステンレス板の耐食性を調べる。		
(4)	試験体	種別レベル	シャワールームユニットから採取した試験片（7cm×15cm）	個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	塩水噴霧試験装置（JIS Z 2371）、PH測定器（JIS Z 8802）、塩化ナトリウム1級品（JIS K 8150）、水酸化ナトリウム0.1N（JIS K 8576）、塩酸0.1N（JIS K 8180）、脱イオン水、比重計、カッターナイフ		
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件	試験片の四周は防錆塗料等でシールを行う。試験片の表面には異物等の付着がないように清拭する。		
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>試験片を下図のように鋭利な刃物で生地素材に達するように傷つけ、JIS Z 2371「塩水噴霧試験方法」による塩水噴霧試験を96時間行う。ただし、塗装ステンレス板は傷つけることなく、そのまま塩水噴霧試験を48時間行う。</p> <p>塩水の噴霧試験を行った試験片について、傷の両側3mm以外の部分の割れ、はがれ、錆について調べる。</p> 		
(6)	試験結果の表示	割れ、はがれ、錆等の状況		
(7)	要求性能	割れ、はがれ、錆が生じないこと		
(8)	注意事項	関連規格 JIS Z 2371		

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	耐酸性試験—FRP板		試験番号	BLT BU-14
(2)	関連要求項目および性能	1.3 耐久性の確保 b) FRP板の耐酸性			
(3)	試験の目的	酸に対するFRP板の耐久性を調べる。			
(4)	試験体	種別レベル	シャワールームユニットから採取した試験片（7cm×15cm）	個数	1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	パーコル硬度計（JIS K 7060の形式A）、ガラスリング（ガラスリングは、内径30mm、高さ30mmのものを標準とする。ポリエチレン製リングを使用してもよい。）、ガラス板、ワセリン、塩酸（JIS K 8180）			
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件	試験片表面に異物などの付着がないように清拭する。			
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>(1) 試験片の表面に、ガラスリングをワセリン又はパラフィンなどで密着させ、さらにガラスリングの外周りをよくシールする。試験片を水平に保って、3%塩酸（試験特級）水溶液をリングの高さ約1/2まで入れガラス板でおおう。1時間後にリングを取除き水で洗浄し、常温で1時間放置した後表面の異常の有無を調べる。</p> <p>(2) 表面のひび割れおよびふくれなどの変化を調べ、かつ、パーコル硬度計を用いて10箇所のパール硬度を測定し、その平均値を求める。</p>			
(6)	試験結果の表示	(1) 表面のひび割れおよびふくれなどの変化の有無 (2) パール硬度			
(7)	要求性能	パール硬度の平均値が30以上であること。かつひび割れ、ふくれが生じないこと			
(8)	注意事項				

優良住宅部品性能試験方法書（シャワールームユニット）

(1)	試験方法名称	耐アルカリ性試験—FRP板	試験番号	BLT BU-15
(2)	関連要求項目および性能	1.3 耐久性の確保 c) FRP板の耐アルカリ性		
(3)	試験の目的	アルカリに対するFRP板の耐久性を調べる。		
(4)	試験体	種別レベル	シャワールームユニットから採取した試験片（7cm×15cm）	個数 1
(5)	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	バーコル硬度計（JIS K 7060の形式A）、ガラスリング（ガラスリングは、内径30mm、高さ30mmのものを標準とする。ポリエチレン製リングを使用してもよい。）、ガラス板、ワセリン、水酸化ナトリウム（JIS K 8756）		
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件	試験片表面に異物などの付着がないように清拭する。		
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>(1) 試験片の表面に、ガラスリングをワセリン又はパラフィンなどで密着させ、さらにガラスリングの外周りをよくシールする。試験片を水平に保って、5%水酸化ナトリウム（試験特級）水溶液をリングの高さ約1/2まで入れガラス板でおおう。1時間後にリングを取除き水で洗浄し、常温で1時間放置した後表面の異常の有無を調べる。</p> <p>(2) 表面のひび割れおよびふくれなどの変化を調べ、かつ、バーコル硬度計を用いて10箇所のバーコル硬度を測定し、その平均値を求める。</p>		
(6)	試験結果の表示	(1) 表面のひび割れおよびふくれなどの変化の有無 (2) バーコル硬度		
(7)	要求性能	バーコル硬度の平均値が30以上であること。かつひび割れ、ふくれが生じないこと		
(8)	注意事項			